

秋らしい服を求めて

橋 祐貴

今回の特集は「ファッション」がテーマです。みなさんもそうなのかもしれませんが、私も普段服を選ぶときに、どうしても「デザイン」よりも「その服が着やすいかどうか」を重視してしまいがちです。特に寒くなるこれからの季節は重ね着をするようになるので、なるべく少ない枚数で寒くないことがとても重要になってきます。私にとって今年は電動車いすで外出するようになってから初めての冬です。寒さで緊張が強くなって電動車いすの操作がしづらくならないようにすることも重要だと考えて、服を選ぶことにしました。

購入する服を選ぶのにハーバーランドの Umie に行ったのは 10 月 4 日でした。この日は 1 日中雨が降ったりやんだりのあいにくの天気ですが、肌寒く、薄手のカーディガンを着ていましたが、寒さで腕の屈曲が強くて電動車いすの操作がしづらかったです。

今回購入を考えていたのは秋から冬までを過ごせる上着です。ズボンは今持っているものが使いやすいため今回は購入していません。Umie の中を行ったり来たりしながら予算内に収まる商品を探しました。平日の Umie は比較的すいていてエレベーターにも待たないで乗れるので店を回りやすく、私が電動車いすで一番よく訪れている商業施設です。とりあえず何軒か店を回ってから購入する店を決め、自分の目的に合う服を探しました。優柔不断な私は購入する商品を選ぶのに毎回時間がかかってしまいます。今回も購入するまでかなり迷いましたが、「とりあえず暖かくて着やすそうな上着」という条件で該当する商品を探し、条件に該当する上着の中からできるだけ今までに持っていないものを選択しました。またこれからの季節に向けて厚手のシャツもついでに購入しました。本当は帽子も購入したかったのですが、帽子まで購入すると予算を超えてしまうし、昨年購入したものがあつたのでまた今度にすることにしました。



カーディガン (5000 円)



ネルシャツ (3500 円)

写真は私が購入した洋服です。上着に厚手のカーディガン (5000 円)、その下に着るネルシャツ (3500 円) を選びました。せっかくなのでカーディガンの色は今まであまり持っていない秋っぽい色のえんじ色にしてみました。これから寒くなると腕の緊張が強くなって服を着るのにも苦勞しますが、カーディガンであれば生地が伸びるので少々緊張が強くても着やすいかなと思います。またこの製品は肩の部分がかなりゆったりとしていたのでより着用しやすいのではないかと思います。素材にアクリルなど化学繊維が多く使われていたので「肌が負けるかも」という心配はありましたが、カーディガンは肌にじかに着るものではないのでそれほど気にする必要はないかなと判断し購入することにしました。ネルシャツは冬になるといつも着ていますが、今回購入したものは店員さんいわく「今年のはやり」だそうで、

襟がないのが特徴的です。私はいつも冬になると首の後ろが乾燥して痒くなり、ちょっとした刺激で痙性が出てしまうので、むしろ襟がない方が擦れなくて電動車いすを操作するのにもいいのかなと思い選択しました。私の身長は180センチ近くありますが、車いすに座った状態だと丈が余ってしまうのでシャツは普段Mサイズを着ています。今回選んだ服はどちらもゆったりとしていたのでMサイズにしました。

後日家の中で購入した服を試しに着用してみました。服の生地が分厚いだけあってかなり暖かく感じました。これなら秋の間は寒さをしのげるのではないかと思います。またカーディガンも首に直接生地があたって痒くならないか心配でしたが、大丈夫だったので安心しました。服自体がゆったりとしているので、これから寒くなって腕の緊張が強くなっても着替えに苦労することはありませんのではないかと思います。今までにあまり試したことのないデザインの服でしたが特に違和感はなく、持っているジーンズやチノパンとの組み合わせも問題なかったのです。



家の中で試着

別の日に実際に上着を着て外出してみました。10月も後半に入って最高気温は20度台前半に下がってきていましたが、カーディガンのおかげで多少の風が吹いても寒さを感じることもなく、むしろ日向では「ちょっと暑いかも」と思うくらいでした。寒さで腕の緊張が強くなることも特になく、電動車いすの操作がスムーズに行えたので快適に移動することができました。これならこれから冬のはじめくらいまではこの格好で問題ないかと思います。



購入した洋服で外出

着替えを全介助で行っている以上、服を選ぶ際に着やすい服にするということは大切だとは思っています。私も普段家の中ではTシャツにジャージで過ごしています。しかしどこでも同じ格好でよいとは思いません。例えば近所のスーパーに行く時でも「上に何か1枚羽織る」だけで見た目が変わるし気分にもメリハリが出ると思います。自分の目的に叶う服を見つけるのはなかなか難しいですが、これからも自分なりに「おしゃれ」を楽しんでいきたいと思っています。